

武雄市統合型校務支援システム導入事業

調達仕様書

令和3年6月

武雄市教育委員会

1 はじめに

武雄市立小学校、中学校に統合型校務支援システムを導入し、校務データを電子化し一元的に管理することで校務の効率化を図る。また、多くの個人情報扱うシステムであるため、セキュリティを強化した環境を構築し維持することを目的とする。

2 システムの概要

(1) 調達対象システム

本事業で調達の対象とするシステムは、以下のとおり。

項番	業務名
1	統合型校務支援システム スズキ校務シリーズ
2	ファイル交換・無害化環境構築

上記にはシステムの構築作業、システムの運用期間中の保守、システム稼動に係る利用者の研修を含むものとする。

3 運用期間等

運用期間等は、以下のとおり。

なお、保守期間は、本稼働期間とする。

項番	業務名	本稼働（保守含む）
1	統合型校務支援システム	令和3年9月1日～ 令和8年8月31日
2	ファイル交換・無害化環境構築	令和4年1月1日～ 令和4年3月31日

上記のファイル交換・無害化環境構築に次年度以降（令和4年4月1日～）の保守、ライセンス更新費等は含まず、本市と協議の上決定するものとする。

4 システム導入までのスケジュール

(1) 統合型校務支援システム

契約日～令和3年8月31日まで

（令和3年8月に導入研修が実施できるよう環境を整備すること）

(2) ファイル交換・無害化環境構築

契約日～令和3年12月31日まで

5 前提条件

(1) 統合型校務支援システム

- 統合型校務支援システムは、本市より提供する既存の仮想サーバー上に構築するものとし、その動作環境・セキュリティ要件等は『8 校務支援システム動作要件』に記載する。

- ・ システムの構築にあたっては、パッケージソフトを基本とし、カスタマイズを抑制すること。
- ・ 契約期間内に制度改正等が発生した場合は、パッケージとして対応するプログラムを提供するものとする。

(2) ファイル交換・無害化環境構築

- ・ 別紙仕様書に記載する機能を有すること。

6 作業範囲

本業務の作業範囲と内容は次のとおりとする。

- (1) 本調達に係るプロジェクトの全体管理
- (2) 統合型校務支援システム導入設計及び各種初期設定支援
- (3) 統合型校務支援システム運用ルールの策定支援
- (4) 統合型校務支援システム各種打ち合わせ、検討事項へのアドバイス、提案
- (5) 統合型校務支援システム基盤構築
- (6) 統合型校務支援システムの保守（システムアップデート等への対応を含む）
- (7) 統合型校務支援システム運用支援
- (8) ファイル交換・無害化環境構築
- (9) 職員室・事務室・校長室の LAN 配線の整線作業

7 基本要件

- (1) 統合型校務支援システムは、以下の機能を導入すること。

項番	機能名	項番	機能名
1	名簿情報管理	6	指導要録作成
2	出欠席情報管理	7	調査書作成
3	小学校成績処理	8	保健管理
4	中学校成績処理		
5	通知表作成		

- (2) 統合型校務支援システムは、以下の帳票を導入すること。

項番	機能名	備考
1	各種名簿	学校ごとに様式編集機能を有すること
2	出席簿	欠席理由の追加等、学校ごとに一括で編集できること
3	通知表	学校ごとに様式編集機能を有すること
4	小学校児童指導要録	通常学級 1 様式・特別支援学級用 2 様式

5	中学校生徒指導要録	通常学級1様式・特別支援学級用2様式
6	調査書	佐賀県指定様式
7	健康診断票	
8	検診結果通知文書	学校ごとに様式編集機能を有すること
9	保健日誌	
10	学校日誌	

(3) LAN配線の整線作業については、以下の要件を満たし作業を行うこと。

項番	項目	備考
1	作業内容	職員室・事務室・校長室のLAN配線の整線作業。 配管・床上げのない場合はモール等の保護材を利用して施工。
2	対象校	北方小、若木小、武内小、橘小、御船が丘小、東川登小、西川登小、武雄小、山内東小、山内西小、北方中、川登中、武雄中、山内中
3	調達機器	8ポート： 65個（参考機器：EHC-G08MN2-HJW） 16ポート： 35個（参考機器：EHC-G16MN-HJW）
4	その他	本仕様に記載のない事項については、別途協議のうえ決定するものとする。

8 統合型校務支援システム動作要件

(1) システム要件

①統合型校務支援システムの動作要件を以下に示す。

ハードウェアは本市にて準備するが、その他構築に係るソフトウェア、仮想サーバーのセットアップ、及びネットワーク設定等は本調達に含むものとする。

・メインサーバー1台

OS：Windows Server 2012、2012 R2、2016、2019

CPU：XEON 2GHz 相当以上、4コア相当以上

メモリ：4GB 以上

HDD(使用容量)：10GB

HDD(バックアップ容量)：1GB

Port：Port80、Port5432、Port28864

ソフトウェア(DB他)：IIS、PostgreSQL 9.5

・データベースサーバー2台

OS : Windows Server 2012、2012 R2、2016、2019

CPU : XEON 2GHz 相当以上、4 コア相当以上

メモリ : 4GB 以上

HDD(使用容量) : 20GB

HDD(バックアップ容量) : 120GB

Port : Port5432、Port28864

ソフトウェア(DB 他) : PostgreSQL 9.5

- ②バックアップはシステム停止を伴うことなくオンラインでバックアップ取得可能な環境を構築すること。バックアップ対象は各サーバーのシステム全体とし、週次でバックアップを取得すること。2世代以上のバックアップデータを保持すること。
- ③各機器の構築時のシステムバックアップ（サーバーはシステム全体、ネットワーク機器は設定コンフィグ）を取得し、納品時に提出すること。構築時バックアップの取得には②で構築したバックアップ環境を利用してよい。
- ④クライアント端末に対して、校務支援システムのセットアップ作業は本市で行う。

(2) セキュリティ

システムの構築にあたり、セキュリティ要件は次のとおりとする。

- ①本市内の各小中及び教育委員会以外からデータセンターへアクセスできないよう措置を講ずること。なお、システムメーカーによるメンテナンス作業はこの限りではない。
- ②外部からの侵入やウイルスなどの被害が無いよう措置を講ずること。
- ③本市のネットワーク構成に大きな変更などの影響が無いようにすること。

(3) 端末環境

校務支援システムは、既存の校務PCにて使用するものとし、詳細は、次のとおりである。

- ①CPU:Core-i3、メモリ:2GB、HD:320GBのPCでも確実に動作すること。
- ②OSはWindows10で確実に動作すること。
- ③ウェブ環境が変化しても対応できること。
- ④データは、汎用的なフォーマットで取り込みや出力が可能であること。
- ⑤PDF等の各種ソフトがバージョンアップした場合に対応できること。
- ⑥外字フォントについては、本市が提供する外字ソフトを使用できること。

9 研修

校務支援システムを安定稼働させるための研修については、本市にて実施することとする。

10 校務支援システム保守要件

(1) バックアップ

システムの自動バックアップができる環境を構築すること。

(2) ヘルプデスク 電話対応

教育委員会、学校及び別途契約するICT支援員等から、携帯電話対応の専用ダイヤルと専用メールアドレスで問い合わせが行えること。(サポートデスクが設置されていること)

(3) データの引継ぎ

本運用業務が終了し業者が変更となった場合には、データを次の業者に引き継ぐこと。